

アジア太平洋こども会議・イン福岡  
25周年特別記念映画

映画「空飛ぶ金魚と世界のひみつ」企画書  
～福岡を舞台に世界とつながる 勇気と愛の物語～



製作: APCC/FireWorks

制作: FireWorks、制作協力: ネイキッド、福岡上映: APCC、全国配給: ネイキッド 宣伝: ネイキッド

# 本企画について

CONCEPT

## ■企画背景

本作は、アジア太平洋子ども会議イン福岡（以下、APCCとする）における、日本とアジア太平洋の子ども達による国際交流プログラム開始25周年の記念事業として、映画を製作することになりました。

## ■企画意図

国際交流プログラムに参加する子どもは、自分と違う考え、価値観、文化を持つ外国人との出会い・交流から、新しい発見や学びを得ます。その経験を通して、世界に羽ばたく人間に育ってほしいという願いが、この事業には込められています。子どもたちの未来の可能性を拡げるために、より多くの福岡市民に映画製作に関わっていただき、共に子どもの可能性を育てていきたい。この映画を通じて、子どもたち自身が自ら考え、夢を持って、未来へ向け、たくましく進んでゆける力を届けたいと考えます。

## ■映画づくりの上で大切にしている事

福岡の子どもたちへ、国際交流への興味・感心を喚起し、海外へ羽ばたく素養をつくります。  
また、映画の上映を通じて、子どもたちへの「国際教育」の推進を図ります。  
特に、以下の道徳・能力の育成を目的とする。

- ①異文化を尊重し、主体的に交流しようとするコミュニケーション能力
- ②思いやりの心を持ち、勇気を持って行動する力
- ③日本、福岡の文化を再発見し、誇りを持って発信する力



## ■作品コンセプト

「出会い」こそが、わたしたちの未来の可能性を拓げてゆくー。

違う国の人々と出会い、接する中で、わたしたちは言葉や習慣の違いといった大きな壁の前で戸惑い、考えさせられることでしょう。しかし、葛藤を抱えながらも、寝食を共にし、楽しい時間・苦しい時間を共有する内、きっと心が通じ合う瞬間がやってくるはずで

す。その「出会い」という奇跡が、わたしたちの未来へ続く道をつくってゆくということ

を、この映画で表現したいと思っています。

## ■物語の構成内容（予定）

3つの物語の主人公達の「出会い」を軸に、時を超えた思いやりの「連鎖」を描いた物語

### ①日本人の父、娘と中国人の母（父の再婚相手）の、家族の絆の物語

微妙な年頃の中学生みどり（娘）と、パワフルな性格で無償の愛を表現するリンリン（母）のすれ違いながらも親子として心を通わすエピソードが描かれます。

### ②韓国人の男の子と日本人の男の子の友情の物語

韓国人少年ドンジュ、日本人の小学生の将太がある日偶然に出会い、お互いを思いやる心を育み、将来の夢を約束するエピソードを描きます。

### ③空港のグランドスタッフの成長の物語

夢を持って働くグランドスタッフが様々な乗客との出会い、ある「事件」に遭遇しながら成長していく姿を描きます。

時代と場所が異なる3つの物語が、不思議な縁で一つに結びつき、アジアの平和に結びつく様な終幕を迎えます。



### ■ 「チガクテイイナ」のおまじないが、子供たちに勇気を与えてくれる

一冊の絵本に描かれた物語。

それは、“寂しい寂しいサビ色の世界”で、絵本の中の空飛ぶ金魚と旅をする少女が色のある世界を取り戻す。

父子家庭の黒田家、ホームステイの韓国人少年、空港の新人グランドスタッフなどの登場人物たちが、それぞれのホームステイの韓国人少年、空港の新人グランドスタッフの主人公達の勇気ある一歩を世代を超えた思いやりのバトンをつなぎ展開していきます。

絵本は、黒田家で起こる長女みどりと中国人の継母、そして絵本作家の父親が新しい家族を築くエピソードから生まれます。そこに描かれた相手を思う心が、国、言葉、文化の壁そして、時を乗り越え、1人の少女カルナを”思いやり泥棒”から救い、世界平和の架け橋となっていきます。

# CAST

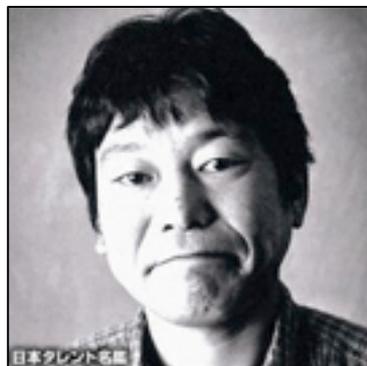


優希美青 (13)

キャラバンにてグランプリを受賞。映画初出演、主演

黒田みどり役 (14)

中学二年生。新しい「母親」の登場に戸惑いつつも新しい家族を築こうと努力している。



ダンカン (51)

黒田洋志役 (42)  
絵本作家。



原田佳奈 (30)  
(福岡県出身)

大人になったみどり役 (27)  
将来の夢であった医者になる



佐藤仁美 (33)

リンリン役 (30)

みどりの母親で中国人。洋志と出会い結婚。



佐津川愛美 (24)

小林天音役 (25)  
グランドスタッフ

■スケジュール

2012年9月	市民公開オーディション
2012年10月	脚本完成・キャスティング
2012年11月～12月	撮影準備
2013年1月	撮影期間
2013年2月～6月	仕上げ期間・完成
2013年7月～	APCC25周年記念イベント 初公開上映
2013年9月～	県内（市内）の小・中学校にておいて上映 その他、福岡県・市民向けに市民センターやホール にて上映
2013年10月～	全国順次ロードショー

## 主要制作スタッフ

## STAFF



映画監督 林 弘樹

日本映画監督協会会員

Hiroki HAYASHI

1974年生まれ、さいたま市出身、獨協大学外国学部英語学科卒。卒業後、助監督として黒沢清、北野武監督等の元、現場で働く。2003年28歳で映画会社FireWorks設立。日本中を元気にする映画「らくだ銀座」にて監督デビュー。国際映連公認・A級世界十大映画祭にも招待され、評価を受ける。全国各地での地域密着型映画製作で、今まで数十万人の人を巻き込み、日経地域情報化大賞2005MJ賞、地域づくり総務大臣賞受賞。経済産業省キーパーソン研究会委員、内閣府地域活性化伝道師、「未来を創る図書館」プロデューサー、全国公民館応援団長にも任命される。公開中の作品は、約6年半かけて創られた渾身の作品、映画「ふるさとがえり（2011）」。

### 【特徴】

地域創出型の映画事業における『普段興味のない住民層をも「地域づくり」に巻き込む手法』や『個人や企業・学校等で、関係性の中から創り出す「物語編集の生成メソッド」』が注目されている。それは新たな人的資源の掘起しとネットワーク化など様々な形を生み出すが、最大の効果は「その後の地域づくり」を推進するソーシャルキャピタル（社会関係資本）の生成である。教育・経済・文化等に繋がる「共感・共有」への意識のイノベーション創出の為の場づくり、プロセスづくりを大切にしている。



脚本 栗山宗大

Munehiro KURIYAMA

1978年、東京都・北区出身。「物語の創造」を通じて、ひと・組織・地域社会の未来をひらく活動を展開。2003年、映画「らくだ銀座」で脚本家デビュー。その後、日本各地で映画づくり・脚本づくり、いわゆる「物語づくり」に没頭する。映画監督・林弘樹らと設立したFireWorksは、日本初となる「市民参加型映画事業」のモデルをデザインし、日経地域情報化大賞MJ賞や地域づくり総務大臣表彰を受賞。自治体・企業のコンテンツプラン、映像による人材育成プログラム、市民向け映画ワークショップ事業などを、独自の物語論によって構築している。愛媛県西条市の合併記念映画製作事業では「2005日経地域情報化大賞MJ賞」を受賞。東京都東大和を舞台に製作した「人生ごっこ!？」（2006年）は「ミンスク国際映画祭映画記者審査員特別賞」を受賞するなど数多くの映画祭へ出品された。現在、岐阜県恵那市で「市民総参加」によって制作された「ふるさとがえり」が、全国各地で上映会を開催中。

# 上映展開について

PUBLIC  
PRESENTATION

## ■映画完成後の展開

### ①2013年7月20日 25周年記念式典内での上映会(プレビュー)

国内外のAPCC参加経験者を集ってもらい、今後のグローバルな架け橋をさらに強めていくための契機とします。その場で、本作も字幕版で初上映されます。

### ②2013年9月以降 福岡県、市内の小中学校での上映

③APCCのアジア太平洋の40カ国地域の同窓会ネットワークを通じて、アジア地域での上映を予定しています。

④福岡の広く市民向けに市民センターやホールなどで上映されます。

### ⑤2013年10月以降 順次全国ロードショー



# これまでの活動

# ACTIVITY

## ■公開オーディション

一般市民の応募の中から選ばれる約**80名**の方が参加するオーディション。運営も沢山のボランティアの方々の手で行われました。

福岡を舞台に世界とつながる勇気と愛の物語!!

アジア太平洋子ども会議-イン福岡が作る映画にあなとも出てみませんか?

**APCC 25周年 映画**

**市民公開オーディション 参加者募集!!** 9月15日(土)開催

会場：福岡市立南市民センター

アジア太平洋子ども会議-イン福岡(APCC)では、毎年選べる25周年記念事業として映画を制作します。そこで、**映画出演者のオーディション**を開催します。当分の間で演技を練習して、最終スタジオデビュー。応募は賞額の応募用紙にご記入の上、アジア太平洋子ども会議-イン福岡までご郵送ください。書類選考後、詳細をご連絡します(9月初旬頃)。

お申し込みの申し込み

NPOアジア太平洋子ども会議-イン福岡  
TEL:092-734-1700 FAX:092-734-1711 E-Mail:info@apcc.or.jp  
〒815-0821 福岡市南区南菜園1-1-1 福岡市立南市民センター  
※ 郵送 APCCの応募用紙にご記入の上、〒815-0821 福岡市南区南菜園1-1-1 福岡市立南市民センター  
※ 郵送 APCCの応募用紙にご記入の上、〒815-0821 福岡市南区南菜園1-1-1 福岡市立南市民センター

http://apcc-film.com APCC

